

令和5年度 文京区立本郷小学校 授業改善推進プラン（音楽科）

	低学年	中学年	高学年
身に付けさせたい力	<ul style="list-style-type: none"> <li>○歌詞の表す情景や気持ちを想像したり、楽曲の気分を感じ取ったりして、思いをもって歌う。</li> <li>○楽曲の気分を感じ取り思いをもって演奏する。</li> <li>○音遊びやリズム遊びを楽しんだり、音楽の仕組みを生かし、思いをもって簡単な音楽をつくったりする。</li> <li>○音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらのよさや面白さなどをと感じ取って聴く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○歌詞の内容、曲想にふさわしい表現を工夫し、思いや意図をもって歌う。</li> <li>○曲想にふさわしい表現を工夫し、思いや意図をもって演奏する。</li> <li>○即興的に音楽をつくったり、音楽の仕組みを生かし、思いや意図をもって音楽をつくったりする。</li> <li>○曲想とその変化を感じ取ったり、音楽を形づくっている要素のかかわり合いを感じ取ったりして、楽曲の構造に気を付けて聴く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○歌詞の内容、曲想を生かした表現を工夫し、思いや意図をもって歌う。</li> <li>○曲想を生かした表現を工夫し、思いや意図をもって演奏する。</li> <li>○即興的に音楽をつくったり、音楽の仕組みを生かし、見通しをもって音楽をつくったりする。</li> <li>○音楽を形づくっている要素のかかわり合いを感じ取り、楽曲の構造に気を付けながら曲想とその変化を聴きとる。</li> </ul>

	低学年	中学年	高学年
児童の実態	<p>1年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○どの曲でも拍の流れを確認しながら、リズムや音の高さに気を付けて歌うことが演奏できるようになってきた。</li> <li>○リズムに合わせて体を動かしたり、手遊びをしたりして意欲的に音楽活動を楽しんでいる。</li> <li>○鍵盤ハーモニカの指使いやタンギングに気を付けながら演奏しようとしている。</li> <li>○歌詞の内容に合った情景や雰囲気想像を想像して歌ったり聴いたりしている。</li> <li>○曲想や歌詞の表す気持ちを体の動きを伴いながら、曲の雰囲気などを楽しんで歌えている。</li> <li>○タンバリンなどの楽器を使って、拍や休符を意識してリズムを打つことができる。</li> </ul>	<p>3年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○互いの歌声やよびかけやこたえ、伴奏を聴いて、2人組から4人組、8人組などになって声を合わせて歌うことができるようになってきた。</li> <li>○自然で無理のない歌い方を何度も試す過程の中で、それぞれの声の特徴を生かしつつ、力んでも締め付けることもなく、音楽的に曲想にあった自然な歌い方で歌えるようになってきた。</li> <li>○リコーダーの学習では、音色や響きに気を付けて、音の高さに応じたタンギングや息の使い方が身に付いてきた。</li> </ul>	<p>5年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○音楽づくりでは、楽器の材質に合わせた音の出し方を工夫することができた。即興的にリズムをつくる活動には個人差が見られる。</li> <li>○鑑賞では、聴きとったことや感じ取ったことについての関わりについて考えることができているが、言葉にすることが難しい児童も一定数いる。</li> <li>○グループ活動では、話し合いが進まなかったり、なかなか実際の音につながらなかつたりするグループが見受けられた。</li> <li>○鍵盤ハーモニカの学習経験が少ないため、技能が十分に身に付いていない。</li> </ul>

2 年	<p>○体の動きを伴う音楽活動や、様々な曲を歌うことに意欲的である子が多くいるが、恥ずかしがったり、どう表現すればよいのか分からなかったりして、取り組めない子もいる。</p> <p>○旋律を階名で感じ取ること少しずつ慣れて、音の高さを意識して歌うことができている。</p> <p>○拍子の違いを感じ取ることができている。</p>	4 年	<p>○少数ではあるがリコーダーに苦手意識をもつ児童がいる。</p> <p>○歌唱では、声の出し方や音の高さに気を付けて歌うことができている。</p> <p>○曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように表現するかについて自分なりの思いや意図をもつことができている児童が多いが、なかなか言葉にすることが難しい児童もいる。</p> <p>○鍵盤ハーモニカの学習経験が少ないため、十分に技能が身に付いていない。</p>	6 年	<p>○歌唱では、歌詞から作者の気持ちを想像し、歌詞の内容と曲の特徴との関わりについて理解できている児童が多い。</p> <p>○音楽づくりの学習では、即興的にリズムをつくって表現することはほとんどの児童ができている。</p> <p>○鑑賞では、曲や演奏のよさを見いだしながら音楽を味わって聴くことができている。曲想と音楽の構造のなどとの関わりについて理解することや聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考えることについては個人差が見られる。</p>
--------	--	--------	---	--------	--

授業改善の具体的な手立て

	低学年	中学年	高学年
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体を動かす・ふし遊び・リズム遊び・音遊びなどをリレー方式で全員に発表させ、一人で表現したり、互いに聴き合ったりする場をつくる。</li> <li>○リズム遊び・表現遊びにグループで取り組むことで、参加しやすい雰囲気を作る。</li> <li>○歌唱や器楽の音楽づくりに際し、曲に対して豊かなイメージがもてるよう工夫し、思いをもって表現できるようにする。</li> <li>○「今月の歌」の取組を通して、様々な曲に触れ、歌う楽しさや他学年の表現のよさを知り、音楽の楽しさを味わえるようにする。</li> <li>○音楽表現をするための基礎的な技能を身に付けられるよう個別指導をする。表現に自信がもてない児童には、見本を示したり、たくさん褒めたりして、表現活動の機会を増やしたり、表現しやすい雰囲気を作ったりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○常時活動で、本時のねらいにあった活動(リズムリレー、ペアで拍打ち、音に合わせて体を動かす等)を行う。</li> <li>○「今月の歌」の取組を通して、様々な曲に触れ、歌に親しむ態度を育み、歌う楽しさを味わえるようにする。</li> <li>○電子黒板等のIT機器を効果的に利用し、視覚的に理解できるように教材を工夫する。</li> <li>○グループで創意工夫しながら、音楽づくりや合奏をする活動を経験させる。</li> <li>○自分たちの演奏を録音して振り返らせたり、クラスを演奏者と聴き手の二つに分けたり、教師による範奏を聴き比べさせたりするなど、「聴き取る方法」を工夫する。</li> <li>○表現や鑑賞において知覚・感受する力が弱い児童には、板書やワークシート、視聴覚教材の活用など、気付かせる手掛かりを多様に用意する。</li> <li>○一人で歌う活動を多く入れる。その際、歌ってよかったと思えるような価値付けをする。</li> <li>○リコーダーの学習では、カード等を用いて個別指導の時間を可能な限り設ける。</li> <li>○教材の特性に合わせて、音楽と出合わせる場面を工夫する。(写真・映像・絵を見せる、関連する音楽や同じ要素が用いられている音楽を聴かせる、教師が範唱・範奏をする等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○常時活動で、本時の活動のねらいにあった活動(リズムリレー、ペアで拍打ち、音に合わせて体を動かす等)を行う。</li> <li>○「今月の歌」の取組を通して、様々な曲に触れ、歌に親しむ態度を育み、歌う楽しさを味わえるようにする。</li> <li>○電子黒板等のIT機器を効果的に利用し、視覚的に理解できるように教材を工夫する。</li> <li>○歌唱・器楽ともに基礎的な技能につながる指導を丁寧に行い、自信をもって演奏できる環境づくりを行う。</li> <li>○題材を通し1枚にまとめたワークシートを工夫し、児童自身が学習を振り返ったり、見通しをもったりして主体的に学習に取り組めるようにする。</li> <li>○「音楽のもと」(音楽を形づくっている要素)を意識させるように掲示物を工夫し、表現及び鑑賞における知覚・感受の手がかりとなるようにする。</li> <li>○教材の特性に合わせて、音楽と出合わせる場面を工夫する。(写真・映像・絵を見せる、関連する音楽や同じ要素が用いられている音楽を聴かせる、教師が範唱・範奏をする等)</li> </ul>

		低学年	中学年	高学年
成果(○)と課題(●)	1年	<p>○友達と一緒に手拍子を合わせた り、聴き合ったりすることで楽し みながらリズム遊びをすること ができた。</p> <p>○グループでの表現活動を取り入 れることで、音楽活動に意欲的に 取り組むことができた。</p> <p>○鍵盤ハーモニカを演奏するとき の姿勢や指遣いやタンギングな どの基礎・基本が概ね身に付け てきた。</p> <p>○鑑賞の時間において、感じたこ とや気付いたことを交流した り、楽しんで曲を聴いたりする ことができた。</p> <p>○今月の歌に全校で取り組むこと で、新しい歌を楽しむだけでなく、 歌い方やみんなで歌う楽し さに触れることができた。</p> <p>●鍵盤ハーモニカの演奏には個人 差もあり、個別での指導が必要 となる。</p>	<p>○歌唱の活動に意欲的に取り組 むことができた。</p> <p>○リコーダーを演奏するときの 姿勢や構え方などの基礎・基 本が身に付いてきた。</p> <p>○聴き取ったこと感じ取ったこ とについて考え、自分なりの 言葉で表したり、発表したり することができるようになって きた。</p> <p>○歌唱の活動を通じて正しい音 程やリズムなどの感覚を身に 付けられるようになってき た。</p> <p>●リコーダーの指遣い・息の強 さ・タンギングに関しては個 人差があり、個別に指導して いく必要がある。</p>	<p>○互いに協力し合いながらグル ープ活動を円滑に行えるよう になってきた。また他のグル ープのよさを自分のグループに 生かす場面も多く見られるよ うになった。</p> <p>○互いのパートの声を聴き合い ながら、響きのある美しい声で 二部合唱をすることができた。</p> <p>○音楽づくりの発想を得たり生 かしたりしながら、即興的に演 奏したり、まとまりのある音楽 を作ったりすることができた。</p> <p>●聴き取ったことと感じ取った ことを関連させながら自分 のなりの言葉で表してワークシ ートに書く活動の個人差があ る。</p>
	2年	<p>○進んで見本をやったり、みんな の前で演奏したりすることに前 向きな児童が増えた。</p> <p>○曲想を考えて体の動きを考えて 表現したり、みんなでダンスを したりと、音楽を体を使って楽 しむ児童が増えた。</p> <p>○音楽会への取り組みを通し、み んなで表現する楽しさを味わ い、意欲的に歌ったり演奏した りすることができた。</p> <p>○表現活動において、音楽表現を 工夫し、自分なりの思いをもと うとする姿が見られた。</p> <p>○リズムや速さに気を付けて鍵盤 を演奏することができるように なった。</p> <p>●グループ活動の際に、協力して 取り組むことが難しい児童がい る。</p>	<p>○音楽と出合わせる場面を工夫 したことで、児童が新しい曲に 対して興味・関心をもって意欲 的に取り組むことができた。</p> <p>○皆の前で1人または少人数で 歌いたいと思う児童が増えた。</p> <p>○互いの演奏を聴き合い、そのよ さや違いを認め合う姿勢が身 に付いてきた。また、そのよさ を自分の演奏に生かす姿が多 くみられた。</p> <p>○旋律の重なりを感じ取りなが ら歌う技能が身に付いてきた。</p> <p>●感染予防対策もあり、リコーダ ーの個別指導の時間をとるこ とができなかった。そのため、 技能の定着にはまだばらつき が見られる。</p>	<p>○グループ合奏の学習では、互い に教え合いながら技能を高め たり、パートの役割を生かして 演奏したりする姿が見られた。</p> <p>○互いの演奏を聴き合い、そのよ さや違いを認め合う姿勢が身 に付いた。</p> <p>○歌詞の内容や曲の特徴にふさわ しい表現を工夫し、二つの旋 律を重ねることの美しさ、楽し さなどを味わいながら合唱を 楽しむことができた。</p> <p>○鑑賞では、演奏のよさを言葉で 表現することができた。</p> <p>●変声した児童で、声の出し方や コントロールに困っている児 童がいる。個別に対応していく 必要がある。</p>